

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けします—。

あすへひとこと

第三十二回

Asue Hitokoto

邑楽町の昔ばなしより

キツネの嫁入り

◆◆◆
今から七十年ほど前のある日の夕暮れのことでした。おばあさんが七歳か八歳の孫に、「今晚キツネの嫁入りを見に行くからね」と言いました。

孫は、キツネの嫁入りとはどういうことかと、いぶかりながらも夕食を早く済ませて待つていました。辺りが暗くなると、おばあさんは孫を連れて、前谷集落の畑の南の方の隅まで出かけました。

「あのこんもりした山の方をよく見ているよ。いまに何か起きるからな」と、おばあさんは孫に言いました。

南の方には夜目にも光善寺村の森がこんもりと見えます。その北側を流れている孫兵衛川の辺りを、おばあさんと孫は、じいっと見詰めていました。こうして、しばらくたちましたが何の変化もありません。おばあさんと孫は半ばあきらめかけていました。

すると、突然おばあさんが小

さな声で、「来た来た」と叫んで、指さしました。おばあさんの、指さす方をよく見ると、光善寺の森の手前、孫兵衛川の裏の方の暗闇の中に小さい光が見えてきました。よく見ていると、その光が二つ三つ、時には五つ六つになって点滅しながら左右に動いています。

孫はおばあさんの手をしっかりと握り締めています。おばあさんも一言もしゃべらずじっと息を堪えて見つめています。しばらくすると光は消えて見えなくなりました。

「よくみたか、あれがキツネの嫁入りだよ」という、おばあさんの声で、われにかえった孫は、世の中には不思議なことがあるんだな、と思いながら、おばあさんに手を引かれて家に帰りました。

七十年ほど前のあの場所は、今では打ち開かれて、住宅団地が出来、孫兵衛川も立派にコンクリートで護岸され、往時を偲ぶものどてなく、ただこうした体験談が語り継がれているだけです。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



イラスト◆漫画家ヒトミスナガ(西ノ根宮内中島・24区在住)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成25年12月号 No.567

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5111 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



実り豊かな田園
(秋妻地内)



Photo 根岸定男(記録ボランティア)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。

